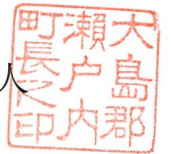


瀬戸内町告示第33号

財政状況の公表に関する条例(昭和47年瀬戸内町条例43号)第2条の規定により, 平成28年度決算および平成29年度上半期の財政状況を別紙のとおり公表する。

平成29年11月1日

瀬戸内町長 鎌田 愛人



平成29年度 上半期

財政状況の公表

鹿児島県 瀬戸内町

目 次

財政動向及び財政方針	1
1 平成28年度 決算のあらまし	2
(1) 概要	2
(2) 各会計実質収支の状況	2
(3) 一般会計歳入の状況	8
(4) 一般会計歳出の状況	10
(5) 町債の状況	12
2 平成29年度 上半期財政運営のあらまし	13
(1) 予算の規模	13
(2) 予算の執行状況	15
3 町有財産の状況	17

I 財政動向及び財政方針

本町では、町民の皆様には町財政について正しく理解していただくため、町条例に基づき毎年5月1日及び11月1日の2回、財政状況を公表しています。今回は、平成28年度決算及び平成29年度上半期の財政運営を中心に財政状況を公表します。

本町の財政状況は、平成28年度決算において、前年度に比べ公共用地取得や、奄美空港ターミナルビル拡張事業負担金等により、総務費が増加し、借入金の繰上償還などにより、公債費が増加しましたが大きな災害がなく、災害復旧費が減少となりました。また、普通建設事業費全体では6千6百万円の減少となっています。

特別会計は前年度に引き続き各特別会計において赤字決算はありませんでしたが、その内容は一般会計からの多額に上る赤字補てん繰出金による改善です。依然、独立採算の原則に基づく各会計の自立が課題となっています。

このような財政状況の中、本町としましては国や県の動向に注視しながら、町民の皆様が将来にわたり安心して暮らせる町づくりを目指し、産業の振興・交通手段や生活環境の整備・高齢者等の福祉医療の確保・教育文化の振興対策を鋭意進めてきました。

平成29年度上半期の財政状況については、財政基盤が脆弱な状況にある中、歳入に見合った予算規模を堅持し、投資的事業の平準化や規模適正化による総量の維持・縮減や町負担額の最小限に努め、財政需要に応えつつも財政基盤の強化を図ってきました。

今後、大規模な施設建替え事業や、老朽化対策に伴う維持補修などの計画があり、かかる費用は膨大となる見込みですが、長期的視野で計画的に資産再構築に取り組み、財政の悪化を回避するよう努力していきます。

国は、「地方創生」については、「地方には、地方の魅力、観光資源、ふるさとの名物があり、それを最大限に活かすことで、過疎化という『壁』も必ず打ち破ることが出来ます。自らの創意工夫と努力で切り拓く、地方の意欲的なチャレンジを「地方創生交付金」によって後押しし、内閣として全力で応援します。」と力強く述べられています。歴史的独自性を発揮した魅力ある町づくりを実現するために今何をすべきかを長期的な視点から捉え、限られた財源で最大限の効果をあげていきたいと考えています。

1 平成28年度決算のあらまし

(1) 概 要

平成28年度の各会計決算総額(水道事業を除く)は、歳入総額14,029,612千円に対し、歳出総額13,441,183千円で、差引588,429千円の黒字となりました。また、翌年度に繰り越すべき財源55,453千円を差し引いた実質収支は532,976千円となっています。

(2) 各会計実質収支の状況

1). 一般会計

一般会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ9,717,374千円に対し、歳入決算額で9,369,615千円、歳出決算額で8,851,098千円となり、前年度に対し歳入決算額で250,723千円、2.7%の増、歳出決算額で505,563千円、6.1%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で518,517千円の黒字となり、翌年度へ繰り越すべき財源45,453千円を差し引いた実質収支は473,064千円の黒字となっています。また、本年度の実質収支額から昨年度の実質収支額504,378千円を差し引いた単年度収支額は31,314千円の赤字となっています。この単年度収支額に財政調整基金の積立金292,305千円と繰上償還金161,292千円を加え、取崩額0円を差し引いた、実質単年度収支額は422,283千円の黒字となっています。

(単位：千円)

一 般 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	9,369,615	8,851,098	518,517	45,453	473,064	△ 31,314
27年度	9,118,892	8,345,535	773,357	268,979	504,378	△ 35,848
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
28年度	292,305	161,292	0	422,283		
27年度	270,114	0	0	234,266		

2). 巡回診療施設特別会計

巡回診療施設特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ287,272千円に対し、歳入決算額で273,052千円、歳出決算額で272,465千円となり、前年度に対し歳入決算額で19,717千円、7.8%の増、歳出決算額で20,770千円、8.3%の増となっています。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で587千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については1,053千円の赤字となっています。

(単位：千円)

巡 回 診 療 施 設 特 別 会 計						
項目	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
年度	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	273,052	272,465	587	0	587	△ 1,053
27年度	253,335	251,695	1,640	0	1,640	△ 12,284
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I	実質単年度収支 F+G+H-I		
28年度	0	0	0	△ 1,053		
27年度	0	0	0	△ 12,284		

3). 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計(事業勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,812,628千円に対し、歳入決算額で1,782,710千円、歳出決算額で1,777,495千円となり、前年度に対し歳入決算額で7,769千円、0.4%の減、歳出決算額で3,991千円、0.2%の減となっています。単年度収支については3,778千円の赤字となっています。

次に、国民健康保険特別会計(直営診療勘定)の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ18,410千円に対し、歳入決算額で16,403千円、歳出決算額で16,196千円となり、前年度に対し歳入決算額で462千円、2.7%の減、歳出決算額で78千円、0.5%の減となっています。単年度収支については384千円の赤字となっています。

(単位：千円)

国民健康保険事業勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C		C-D E	
28年度	1,782,710	1,777,495	5,215		0	5,215	△ 3,778
27年度	1,790,479	1,781,486	8,993		0	8,993	△ 11,469
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0			0	△ 3,778	
27年度	0	0			0	△ 11,469	

(単位：千円)

国民健康保険直営診療勘定							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B	C		C-D E	
28年度	16,403	16,196	207		0	207	△ 384
27年度	16,865	16,274	591		0	591	△ 4,159
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0			0	△ 384	
27年度	0	0			0	△ 4,159	

4). 介護保険特別会計

介護保険特別会計事業勘定の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,571,956千円に対し、歳入決算額で1,562,496千円、歳出決算額で1,518,706千円となり、前年度に対し歳入決算額で54,777千円、3.6%の増、歳出決算額で49,828千円、3.4%の増となっています。
単年度収支については4,949千円の黒字となっています。

(単位：千円)

介護保険特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D E	
28年度	1,562,496	1,518,706	43,790		0	43,790	4,949
27年度	1,507,719	1,468,878	38,841		0	38,841	△ 7,402
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0			0	4,949	
27年度	0	0			0	△ 7,402	

5). 後期高齢者医療事業特別会計

後期高齢者医療事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ108,971千円に対し、歳入決算額で108,760千円、歳出決算額で107,277千円となり、前年度に対し歳入決算額で632千円、0.6%の減、歳出決算額で282千円、0.3%の減となっています。
単年度収支については350千円の赤字となっています。

(単位：千円)

後期高齢者医療事業特別会計							
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引		翌年度に 繰越すべ き財源 D	実質収支	単年度収支 F
	A	B	A-B	C		C-D E	
28年度	108,760	107,277	1,483		0	1,483	△ 350
27年度	109,392	107,559	1,833		0	1,833	△ 180
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額		I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0			0	△ 350	
27年度	0	0			0	△ 180	

6). 屠畜場事業特別会計

屠畜場事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ1,911千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の1,779千円となり、前年度に対し歳入歳出決算額で169千円、8.7%の減となっています。主な要因は、施設管理費の減によるものです。

(単位：千円)

屠畜場事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	1,779	1,779	0	0	0	0
27年度	1,948	1,948	0	0	0	0
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0	0		0	
27年度	0	0	0		0	

7). 船舶交通事業特別会計

船舶交通事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ638,711千円に対し、歳入決算額で631,410千円、歳出決算額で618,405千円となり、前年度に対し歳入決算額で80,298千円、14.6%の増、歳出決算額で85,891千円、16.1%の増となっています。主な要因は船舶建造費の増によるものです。

決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で13,005千円の黒字、翌年度へ繰り越すべき財源10,000千円を差し引いた実質収支は3,005千円の黒字となっています。単年度収支については15,396千円の赤字となっています。

(単位：千円)

船舶交通事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	631,410	618,405	13,005	10,000	3,005	△ 15,396
27年度	551,112	532,514	18,598	197	18,401	△ 1,880
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額 I		実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0	0		△ 15,396	
27年度	0	0	0		△ 1,880	

8). 古仁屋港上屋事業特別会計

古仁屋港上屋事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ2,741千円に対し、歳入決算額及び歳出決算額は同額の2,482千円となり、前年度に対し歳入決算額で173千円、6.5%の減、歳出決算額で6千円、0.2%の減となっています。

単年度収支については167千円の赤字となっています。

(単位：千円)

古仁屋港上屋事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	2,482	2,482	0	0	0	△ 167
27年度	2,655	2,488	167	0	167	△ 483
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0		0	△ 167	
27年度	0	0		0	△ 483	

9). 農業集落排水事業特別会計

農業集落排水事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ25,743千円に対し、歳入決算額で22,634千円、歳出決算額で19,847千円となり、前年度に対し歳入決算額で2,273千円、9.1%の減、歳出決算額で2,501千円、11.2%の減となっています。主な要因は修繕料の減によるものです。

単年度収支についても228千円の黒字となっています。

(単位：千円)

農業集落排水事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	22,634	19,847	2,787	0	2,787	228
27年度	24,907	22,348	2,559	0	2,559	344
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0		0	228	
27年度	0	0		0	344	

10). 簡易水道事業特別会計

簡易水道事業特別会計の歳入歳出決算額は、歳入歳出予算額それぞれ270,067千円に対し、歳入決算額で258,273千円、歳出決算額で255,433千円となり、前年度に対し歳入決算額で25,410千円、10.9%の増、歳出決算額で25,676千円、11.2%の増となっています。主な要因は、簡易水道施設整備費の増によるものです。決算収支の状況は、歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支で2,840千円の黒字、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支も同額の黒字となっています。単年度収支については197千円の赤字となっています。

(単位：千円)

簡易水道事業特別会計						
項目 年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出 差 引	翌年度に 繰越すべ き財源	実質収支	単年度収支
	A	B	A-B C	D	C-D E	F
28年度	258,273	255,433	2,840		2,840	△ 197
27年度	232,863	229,757	3,106	69	3,037	△ 11,793
	財調積立金 G	繰上償還金 H	積立金取崩額	I	実質単年度収支 F+G+H-I	
28年度	0	0		0	△ 197	
27年度	0	0		0	△ 11,793	

11). 水道事業会計

水道事業会計の収益的収支の決算額は、収入予算額150,353千円に対し決算額160,739千円、支出予算額147,687千円に対し決算額126,610千円となり、差し引き34,129千円の当年度純利益を生じていますが、損益計算書での当年度純利益24,600千円との差額9,529千円は、消費税相当分であります。

資本的収支の決算額は、収入予算額2千円に対し決算額0円、支出予算額39,789千円に対し決算額38,188千円となり、差し引き38,188千円の収入不足となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額につきましては、過年度分損益勘定留保資金37,972千円及び当年度分消費税資本的収支調整額216千円を充当して補填しています。

(単位：千円)

年度	収益的収入	収益的支出	差 引	資本的収入	資本的支出	差 引
28年度	149,168	124,568	24,600	0	38,188	△ 38,188
27年度	159,947	129,300	30,647	0	36,505	△ 36,505

(3) 一般会計歳入の状況

歳入決算額は、調定額9,519,728千円に対し、収入済額は9,369,615千円で、収入率は前年度に対して0.1ポイント減の98.4%となっています。

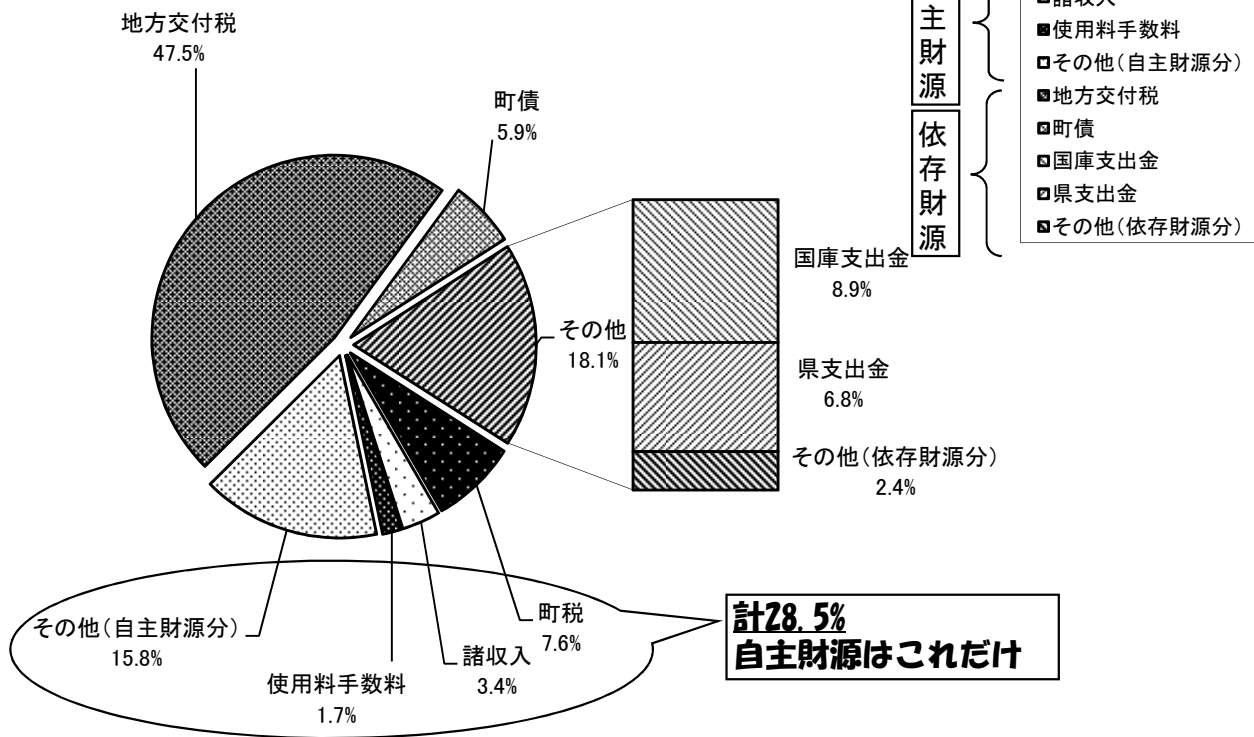
また、歳入決算額のうち町税や使用料・手数料、繰入・繰越金等の自主財源額は2,669,264千円で、前年度に対し670,197千円、33.5%の増、国庫支出金や地方交付税、町債等の依存財源額は6,700,351千円で、前年度に対して419,474千円、5.9%の減となっています。それぞれの割合は自主財源が28.5%で、前年度に対して6.5ポイントの増、依存財源が71.5%で、前年度に対して6.5ポイントの減となっています。

(歳入決算目的別内訳)

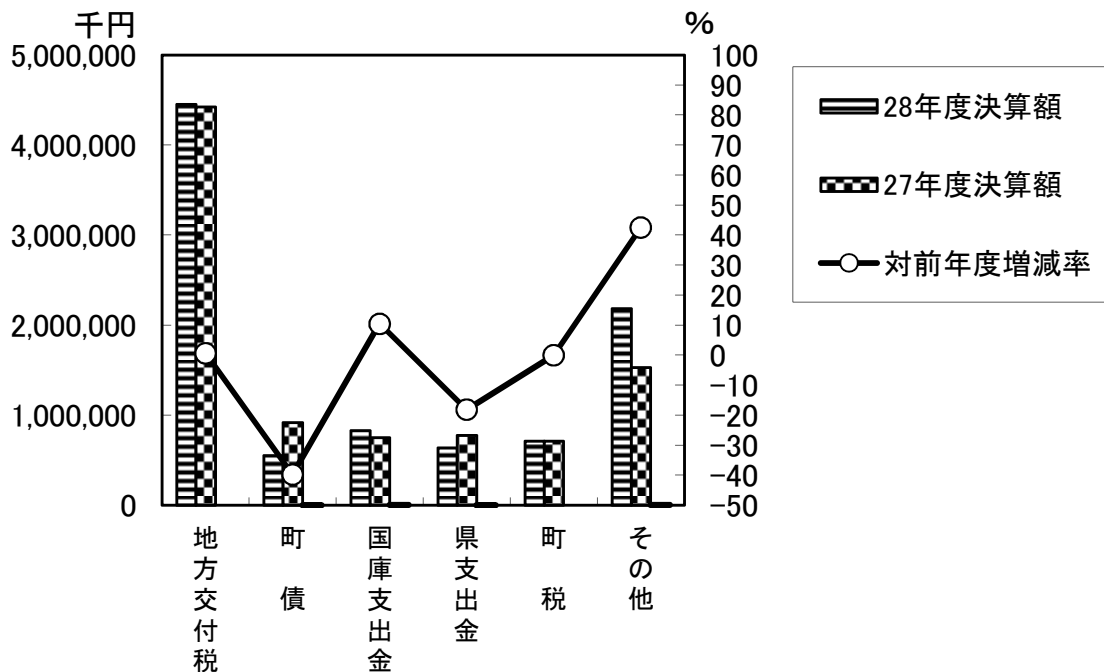
(単位:千円, %)

歳入区分	平成28年度		平成27年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 町 税	711,519	7.6	711,841	7.8	△ 322	△ 0.0
2 地 方 譲 与 税	55,315	0.6	55,256	0.6	59	0.1
3 利 子 割 交 付 金	537	0.0	1,070	0.0	△ 533	△ 49.8
4 配 当 割 交 付 金	1,338	0.0	2,123	0.0	△ 785	△ 37.0
5 株 式 譲 渡 所 得 割 交 付 金	764	0.0	2,155	0.0	△ 1,391	△ 64.5
6 地 方 消 費 税 交 付 金	158,705	1.7	176,673	1.9	△ 17,968	△ 10.2
7 自 動 車 取 得 税 交 付 金	6,796	0.1	5,344	0.1	1,452	27.2
8 地 方 特 例 交 付 金	1,180	0.0	912	0.0	268	29.4
9 地 方 交 付 税	4,452,783	47.5	4,423,815	48.5	28,968	0.7
10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,147	0.0	1,536	0.0	△ 389	△ 25.3
11 分 担 金 及 び 負 担 金	43,486	0.5	31,567	0.3	11,919	37.8
12 使 用 料 及 び 手 数 料	162,338	1.7	154,259	1.7	8,079	5.2
13 国 庫 支 出 金	831,192	8.9	752,560	8.3	78,632	10.4
14 県 支 出 金	636,494	6.8	777,681	8.5	△ 141,187	△ 18.2
15 財 産 収 入	314,453	3.4	44,559	0.5	269,894	605.7
16 寄 付 金	99,903	1.1	74,061	0.8	25,842	34.9
17 繰 入 金	234,588	2.5	175,201	1.9	59,387	33.9
18 繰 越 金	773,358	8.3	604,064	6.6	169,294	28.0
19 諸 収 入	329,619	3.4	203,515	2.4	126,104	62.0
20 町 債	554,100	5.9	920,700	10.1	△ 366,600	△ 39.8
歳 入 合 計	9,369,615	100.0	9,118,892	100.0	250,723	2.7

自主財源と依存財源の状況



平成28年度歳入決算対前年度比較



(4) 一般会計歳出の状況

歳出決算額は、予算額9,717,374千円に対し、支出済額は8,851,098千円で、支出率は前年度に対して0.1ポイント減の91.1%となっています。翌年度繰越額561,172千円を差し引いた不用額は305,104千円で、前年度に対し73,699千円の増となっています。

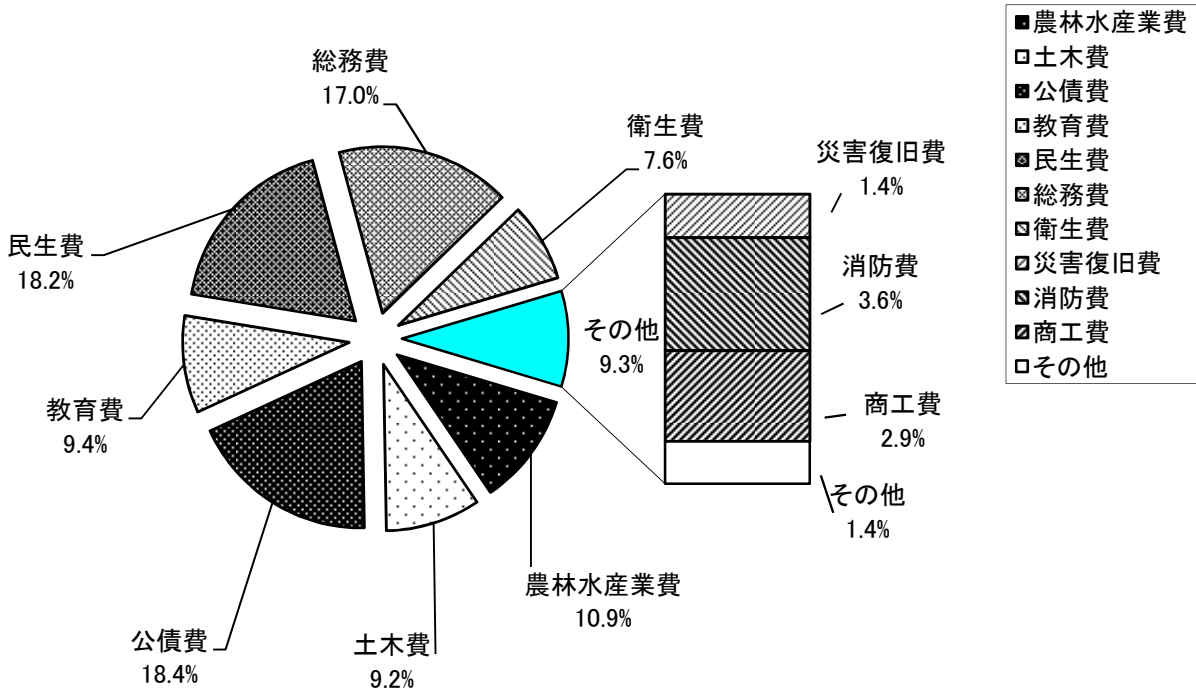
目的別の主な歳出額は、公債費1,630,768千円、民生費1,613,093千円、総務費1,500,515千円、農林水産業費962,054千円、教育費835,290千円、土木費815,871千円となっており、衛生費672,799千円と続いています。

(歳出決算目的別内訳)

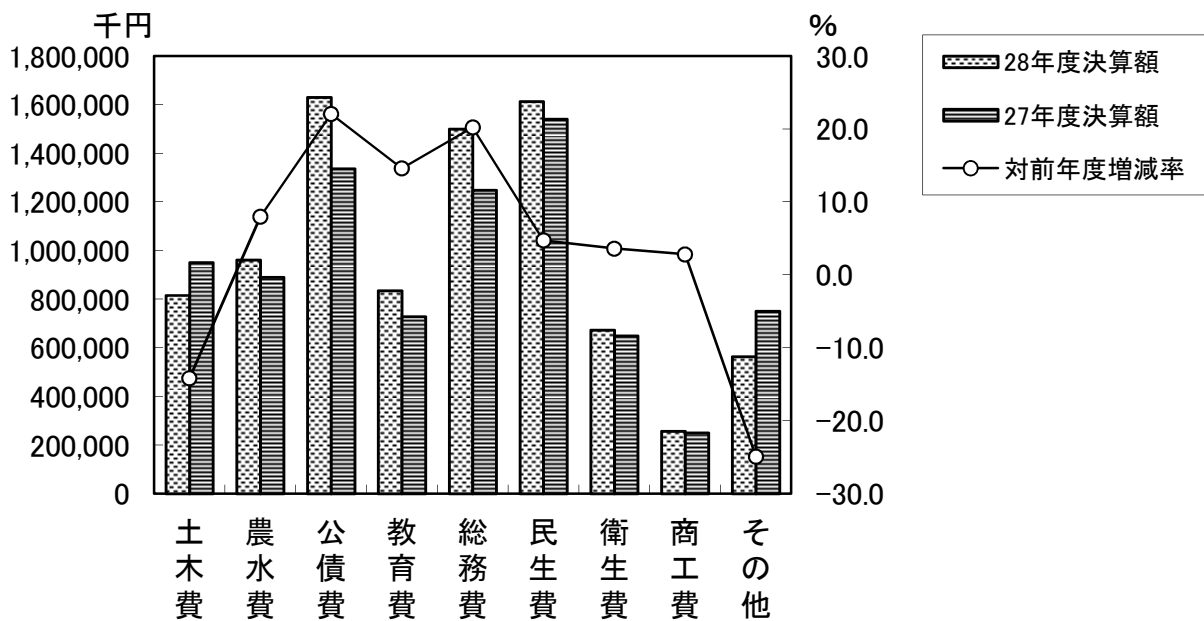
(単位:千円, %)

歳 出 区 分	平成28年度		平成27年度		対前年度増減	
	決算額 A	構成比	決算額 B	構成比	D (A-B)	D/B×100
1 議 会 費	90,289	1.0	93,446	1.1	△ 3,157	△ 3.4
2 総 務 費	1,500,515	17.0	1,248,402	15.0	252,113	20.2
3 民 生 費	1,613,093	18.2	1,540,490	18.5	72,603	4.7
4 衛 生 費	672,799	7.6	649,416	7.8	23,383	3.6
5 労 働 費	8,002	0.1	8,719	0.1	△ 717	△ 8.2
6 農 林 水 産 業 費	962,054	10.9	890,994	10.7	71,060	8.0
7 商 工 費	257,399	2.9	250,347	3.0	7,052	2.8
8 土 木 費	815,871	9.2	950,656	11.4	△ 134,785	△ 14.2
9 消 防 費	320,224	3.6	371,411	4.5	△ 51,187	△ 13.8
10 教 育 費	835,290	9.4	728,934	8.7	106,356	14.6
11 災 害 復 旧 費	123,234	1.4	276,636	3.3	△ 153,402	△ 55.5
12 公 債 費	1,630,768	18.4	1,336,084	16.0	294,684	22.1
13 諸 支 出 金	21,560	0.2	0	0.0	21,560	#DIV/0!
14 予 備 費						
歳 出 合 計	8,851,098	100.0	8,345,535	100.0	505,563	6.1

平成28年度一般会計目的別経費の状況



平成28年度歳出決算対前年度比較



(5) 町債の状況

収入済額は554,100千円で、前年度に対し366,600千円、39.8%の減となっています。減額の主な要因は過疎ソフト債や過疎対策事業債(火葬場改修)等の減によるものです。

町債の借り入れ、償還、現在高の状況

(単位:千円)

会 計 別	平成27年度 末現在高 A	平成28年度 発行額 B	平成28年度償還 額 C	平成28年度末 現在高 A+B-C
(一般会計)	10,736,967	554,100	1,553,934	9,737,133
(特別会計)	1,523,053	385,700	68,947	1,839,806
巡 回 診 療	126,998	21,000	12,912	135,086
国 保 直 診	0	0	0	0
船 舶	249,931	294,300	1,173	543,058
上 屋	23,129	0	1,450	21,679
農業集落排水	119,781	0	8,193	111,588
簡 易 水 道	1,003,214	70,400	45,219	1,028,395
合 計	12,260,020	939,800	1,622,881	11,576,939

上 水 道	661,363	0	35,273	626,090
-------	---------	---	--------	---------

2 平成29年度上半期財政運営のあらまし

平成29年度の補正予算を中心に上半期の財政運営状況を説明します。

(1) 予算の規模(繰越明許費は除く)

各会計の補正状況

(単位:千円)

会計別	平成29年度 当初予算額 A	9月までの補正 額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
(一般会計)	8,399,906	969,432	9,369,338	66.4
(特別会計)	4,523,944	215,971	4,739,915	33.6
巡回診療	306,480	7,550	314,030	2.2
国保事業	1,834,268	△ 52,623	1,781,645	12.6
国保直診	18,099	△ 4,670	13,429	0.1
介護保険	1,447,275	43,595	1,490,870	10.6
後期高齢	111,676	1,608	113,284	0.8
屠畜場	1,815	0	1,815	0.0
船舶	254,591	150,815	405,406	2.9
上屋	2,531	0	2,531	0.0
農業集落排水	23,873	0	23,873	0.2
簡易水道	523,336	69,696	593,032	4.2
合計	12,923,850	1,185,403	14,109,253	100.0

上水道事業	平成29年度 当初予算額 A	9月までの補 正額 B	現計予算 A+B
収益的収入	163,760	0	163,760
収益的支出	148,726	7,887	156,613
資本的収入	100,001	20,000	120,001
資本的支出	157,603	22,500	180,103

一般会計予算款別補正状況
(歳入)

(単位:千円, %)

会計別	平成29年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
町 税	728,544	0	728,544	7.8
地 方 譲 与 税	53,964	0	53,964	0.6
利 子 割 交 付 金	1,070	0	1,070	0.0
配 当 割 交 付 金	2,123	0	2,123	0.0
株式等譲渡所得割交付金	2,155	0	2,155	0.0
地方消費税交付金	145,232	0	145,232	1.6
自動車取得税交付金	5,344	0	5,344	0.1
地方特例交付金	1,180	0	1,180	0.0
地 方 交 付 税	4,104,667	0	4,104,667	43.8
交通安全対策特別交付金	1,500	0	1,500	0.0
分担金及び負担金	26,866	7,689	34,555	0.4
使用料及び手数料	162,198	△ 60	162,138	1.7
国 庫 支 出 金	1,199,035	183,938	1,382,973	14.8
県 支 出 金	525,827	236,200	762,027	8.1
財 産 収 入	35,990	5,532	41,522	0.4
寄 付 金	71,301	0	71,301	0.8
繰 入 金	146,789	32,002	178,791	1.9
繰 越 金	1	473,063	473,064	5.0
諸 収 入	104,420	9,168	113,588	1.2
町 債	1,081,700	21,900	1,103,600	11.8
合 計	8,399,906	969,432	9,369,338	100.0

(歳出)

(単位:千円, %)

会計別	平成29年度 当初予算額 A	9月までの 補正額 B	9月補正後現計	
			現計予算 A+B	構成比
議 会 費	80,394	10,419	90,813	1.0
総 務 費	1,082,203	254,247	1,336,450	14.3
民 生 費	1,447,799	24,537	1,472,336	15.7
衛 生 費	519,818	53,618	573,436	6.1
労 働 費	8,410	△ 239	8,171	0.1
農 林 水 産 業 費	654,458	156,477	810,935	8.7
商 工 費	213,905	37,061	250,966	2.7
土 木 費	1,677,901	82,557	1,760,458	18.8
消 防 費	304,176	82,405	386,581	4.1
教 育 費	724,202	40,295	764,497	8.2
災 害 復 旧 費	100,695	321,606	422,301	4.5
公 債 費	1,563,973	△ 101,750	1,462,223	15.6
諸 支 出 金	1,972	8,199	10,171	0.1
予 備 費	20,000	0	20,000	0.2
合 計	8,399,906	969,432	9,369,338	100.0

(2) 予算の執行状況

平成29年度の上半期(4月1日～9月30日)までの各会計予算の収入及び支出状況は以下のとおりです。(繰越明許費は除く)

各会計予算の執行状況 (平成29年9月30日現在) (単位:千円, %)

会計別	歳 入			歳 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
(一般会計)	9,369,338	4,534,922	48.4	9,369,338	3,325,350	35.5
(特別会計)	4,739,915	1,410,527	29.8	4,739,915	1,790,727	37.8
巡回診療	314,030	75,018	23.9	314,030	111,419	35.5
国保事業	1,781,645	582,012	32.7	1,781,645	855,058	48.0
国保直診	13,429	2,847	21.2	13,429	4,947	36.8
介護保険	1,490,870	610,587	41.0	1,490,870	586,110	39.3
後期高齢	113,284	25,858	22.8	113,284	23,871	21.1
屠畜場	1,815	240	13.2	1,815	1,071	59.0
船舶	405,406	73,189	18.1	405,406	136,070	33.6
上屋	2,531	0	0.0	2,531	1,389	54.9
農業集落排水	23,873	6,351	26.6	23,873	9,611	40.3
簡易水道	593,032	34,425	5.8	593,032	61,181	10.3
合計	14,109,253	5,945,449	42.1	14,109,253	5,116,077	36.3

(単位:千円, %)

上水道事業	収 入			支 出		
	予算現額	収入済額	収入率	予算現額	支出済額	支出率
収益的収支	163,760	79,947	48.8	156,613	35,772	22.8
資本的収支	120,001	0	0.0	180,103	18,606	10.3

平成29年度一般会計の上半期の款別執行状況は次のとおりです。(繰越明許費は除く)

一般会計予算款別執行状況(歳入) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	収入済額	収入率
町 税	728,544	408,234	56.0
地 方 譲 与 税	53,964	16,026	29.7
利 子 割 交 付 金	1,070	567	53.0
配 当 割 交 付 金	2,123	414	19.5
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	2,155	0	0.0
地 方 消 費 税 交 付 金	145,232	92,291	63.5
自 動 車 取 得 税 交 付 金	5,344	3,530	66.1
地 方 特 例 交 付 金	1,180	966	81.9
地 方 交 付 税	4,104,667	3,015,719	73.5
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	391	26.1
分 担 金 及 び 負 担 金	34,555	8,648	25.0
使 用 料 及 び 手 数 料	162,138	76,163	47.0
国 庫 支 出 金	1,382,973	117,510	8.5
県 支 出 金	762,027	39,848	5.2
財 産 収 入	41,522	19,268	46.4
寄 付 金	71,301	33,227	46.6
繰 入 金	178,791	95	0.1
繰 越 金	473,064	473,064	100.0
諸 収 入	113,588	62,366	54.9
町 債	1,103,600	0	0.0
歳 入 合 計	9,369,338	4,368,327	46.6

一般会計予算款別執行状況(歳出) (単位:千円, %)

科 目	予算現額	支出済額	支出率
議 会 費	90,813	47,257	52.0
総 務 費	1,336,450	413,102	30.9
民 生 費	1,472,336	586,561	39.8
衛 生 費	573,436	154,636	27.0
労 働 費	8,171	4,051	49.6
農 林 水 産 業 費	810,935	218,189	26.9
商 工 費	250,966	128,870	51.3
土 木 費	1,760,458	474,766	27.0
消 防 費	386,581	164,911	42.7
教 育 費	764,497	317,379	41.5
災 害 復 旧 費	422,301	25,310	6.0
公 債 費	1,462,223	740,656	50.7
諸 支 出 金	10,171	0	0.0
予 備 費	20,000	0	0.0
歳 出 合 計	9,369,338	3,275,688	35.0

3 町有財産の状況

町有財産には公有財産、物品、債権及び基金が含まれますが、これらの町有財産の管理については条例や規則によってそれぞれの管理がなされています。その概要は以下のとおりです。

【一般会計】

i) 公有財産

(1) 行政財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

区 分		土 地	建 物
本 庁 舎		2,771.76	4,315.83
その他の 行政機関	消 防 庁 舎	9,986.96	1,779.57
	その他の施設	794.94	89.87
公共用 財産	学 校	120,218.28	40,797.00
	公 営 住 宅	54,564.44	37,754.85
	公 園	122,406.08	325.72
	その他の施設	176,294.93	30,333.53
計		487,037.39	115,396.37

(2) 普通財産

① 土地及び建物 (単位: m²)

建 物		
		2,422.55
土 地	宅 地	30,069.29
	田	3,480.00
	畑	17,447.19
	原 野	4,546,823.44
	山 林	6,408,268.17
	雑種地	83,237.21
	墓 地	78,817.90
	保安林	754,582.75
計		11,925,148.50

林 野	11,709,674.36
-----	---------------

(原野+山林+保安林)

② 有価証券 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
株 券	12,440

③ 出資による権利 (単位: 千円)

区 分	現 在 高
出資証券	328,096

ii) 物 品

区 分	台 数
普 通 乗 用	4
普 通 貨 物	5
小 型 乗 用	12
小 型 貨 物	13
マ イ ク ロ バ ス	0
消 防 車	20
特 殊 用 途 車	12
大 型 特 殊 車	14
軽 (四 輪 貨 物)	30
軽 (四 輪 乗 用)	18
船 舶	3
原 付	3
合 計	134

iii) 基 金

(単位:千円)

区 分	現 在 高
財 政 調 整 基 金	預 金 現 金 1,408,641
地 方 債 管 理 基 金	預 金 現 金 169,000
高 額 医 療 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 2,774
	債 権 0
奨 学 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 11,362
	債 権 20,048
肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 22,170
	物 品 24,137
地 域 振 興 基 金	預 金 現 金 3,922
地 域 福 祉 基 金	預 金 現 金 955
ふ る さ と 水 と 土 保 全 基 金	預 金 現 金 10,000
教 育 振 興 人 材 育 成 基 金	預 金 現 金 1
青 少 年 育 成 基 金	預 金 現 金 272
公 共 施 設 維 持 管 理 基 金	預 金 現 金 214,137
土 地 開 発 基 金	預 金 現 金 27,591
	不 動 産 0
大 学 入 学 一 時 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 38,666
	債 権 5,075
ふ る さ と 応 援 基 金	預 金 現 金 92,360
特 別 産 業 振 興 資 金 貸 付 基 金	預 金 現 金 10,914
特 別 水 産 業 対 策 基 金	預 金 現 金 10,000
特 別 肉 用 牛 導 入 基 金	預 金 現 金 6,678
	物 品 3,329
酒 造 用 含 み つ 糖 生 産 対 策 補 給 基 金	預 金 現 金 2,700
災 害 対 策 準 備 基 金	預 金 現 金 1,377
計	2,086,109

【特別会計】

i) 公有財産

(1) 公有財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

② 動 産

区 分	現 在 高
船舶交通事業会計	3隻(478.00トﾝ)

(2) 行政財産

① 土地及び建物

(単位:㎡)

区 分	土 地	建 物
巡回診療施設会計	1,760.79	1,772.13
国民健康保険会計	601.01	119.56
屠畜場事業会計	0.00	538.99
船舶交通事業会計	1,431.23	383.72
古仁屋港上屋事業会計	0.00	790.60
農業集落排水事業会計	915.25	361.80
簡易水道事業会計	14,285.00	0.00
計	18,993.28	3,966.80

ii) 物 品

区 分	現 在 高	
巡回診療会計	車 両	4台
	レ ン ト ゲ ン	2台
計	6台	

iii) 基 金 (単位:千円)

区 分	現 在 高
国民健康保険基金	222
船舶建造基金	4,780
計	5,002